

2020年5月14日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」2020年 ～評価項目は ESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度など～

株式会社フィスコ(JASDAQ 上場、証券コード「3807」、本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下、「フィスコ」)は、フィスコ企業調査レポート(<http://www.fisco.co.jp/service/report.html>)を活用した企業の表彰制度「機関投資家&アナリスト企業調査レポートアワード」の2020年版を発表いたしました。

評価項目は、フィスコが機関投資家およびアナリスト中から選出した審査員である10名から希望が多かった ESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度に絞り、当該審査員に2020年1年間にリリースされたフィスコ企業調査レポートの中から各評価項目の各々上位5社を選出してもらっています。なお、審査員が全会一致で1社を1位に選出した場合、最高得点数は50点となります。

■ ESG

1位	いちご<2337>	20点
2位	日本再生可能エネルギー・インフラ投資法人<9283>	18点
3位	昭和産業<2004>	12点
4位	エスプール<2471>	9点
5位	Jオイル<2613>	7点

1位のいちごは、前回の2018年アワードの2位に続いて今回はトップでのランクイン。Jリーグの「トップパートナー」への就任も「地域に密着した現場主義」という同社の考えに根差しており、他社のスポーツに対する同種の取り組みよりも、理解度が高い(企業行動として適切)。という声。不動産・再生エネルギーなども活用しており、ESGに対する取り組みの一貫性があるとの評価もありました。2位の日本再生可能エネルギー・インフラ投資法人は「再生可能エネルギーの導入・普及」という事業そのものが、持続可能な社会を実現するための重要課題の一つであるという指摘が多くありました。また、地域社会での雇用創出なども評価ポイントとして挙げられていました。3位の昭和産業は、食品ロス対策として家庭でできるフードロス・チャレンジレシピを紹介する取り組みや、植物工場への参入などが評価されました。

■ CSR

1位	エヌ・シー・エヌ<7057>	15点
2位	いちご<2337>	14点
3位	富士ソフト<9749>	11点
4位	エスプール<2471>	9点
5位	ティーケーピー<3479>	8点

1位のエヌ・シー・エヌは、「いすみフォレストリビング」など森林資源を活用した取り組みにみられるように、「新しい木造のかたち」の伝道者として事業展開している姿勢がポジティブに評価されました。2位のいちごは、Jリーグのトップパートナーとしてスポ

一ツを通じた地域活性化に貢献するなど具体的な取り組みが多く、また、近年はそうした活動を伝えようとする積極的な企業姿勢が強く感じられるとの声もありました。3位の富士ソフトは、IT人材の不足などを背景に社会的なニーズが高まってきているプログラミング教育や女性活躍を推進していること、加えて、「高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会」など独自のイベントを定期的に行っている点が評価ポイントとして挙げられました。

■ビジネスモデル

1位	神戸物産<3038>	14点
2位	クラウドワークス<3900>	13点
3位	毎日コムネット<8908>	10点
4位	イントラスト<7191>	9点
5位	ティア<2485>	7点

1位は神戸物産。株価は2019年においてはほぼ一本調子で上昇し続け、市場関係者の間でも話題になりました。同社は、好採算のPB商品と低コスト店舗が強みです。こうした従来のビジネスモデルに大きな変化があったわけではありませんが、消費税などを背景に生活防衛意識が一段と高まっている外部環境のなか、改めてこの完成されたビジネスモデルが光るとの評価がありました。2位はクラウドワークス。ハイクラス人材とマッチングし、仕事を依頼できる新サービス「CrowdLinks(クラウドリンクス)」を開始し、これを上手く軌道に乗せることができれば、単なる「副業」や「フリーランス」のプラットフォームから脱却し、課題解決企業としての存在感が一段と増すとの声があり、総じて高い評価となりました。

■成長性

1位	Kudan<4425>	25点
2位	日本M&Aセンター<2127>	15点
3位	レアジョブ<6096>	14点
4位	ティーケーピー<3479>	9点
5位	ティア<2485>	7点

1位のKudanは、人工知能(AI)の研究開発会社であり、テーマとしても将来的な期待は依然として大きいとの評価に加え、「ここ最近の株価は厳しい状況が続くが、5G時代の到来で改めて注目を集める可能性のある企業」との声もありました。2位の日本M&Aセンターについては、「社長の高齢化などを背景に、事業承継を目的としたM&Aのニーズに衰える兆しはなく、依然として高い成長が期待される」という声が非常に多く聞かれました。3位のレアジョブは、個人向けには低価格で訴求している一方、「講師の品質に対する高い意識も顧客満足度を支えており、法人向けサービスへの展開などにも期待したい」との評価がありました。また、足元でのオンライン学習推進の流れにも乗っているという指摘もありました。

■社員満足度

1位	アトラエ<6194>	22点
2位	コネクシオ<9422>	19点
3位	サーバーワークス<4434>	12点
4位	フォーバル<8275>	9点

5 位 ベルトラ<7048>

8 点

1 位はアトラエ。前回の 2018 年アワード時の 5 位よりもランキングが上がり今回はトップとなりました。言わずと知れた「働きがいのある会社」ランキングの常連であり、社員満足度が高い企業としても著名です。2 位はコネクシオ。「ES(従業員満足)から CS(顧客満足)に繋げるという意識が強い」との評価がありました。また、東京都女性活躍推進大賞において、産業分野の「大賞」を受賞するなど、外部からの評価も高いという声もありました。

■企業価値の伸び率

1 位	レアジョブ<6096>	1095.5 %
2 位	マーケットエンタープライ<3135>	445.9 %
3 位	アイ・アールジャパン<6035>	305.1 %
4 位	アイル<3854>	292.1 %
5 位	イノベーション<3970>	239.1 %

3 位の IR ジャパンは、アクティビストの活発化などを追い風に業績が好調でした。5 位のイノベーションは IT 製品の紹介サイトを運営。2019 年 12 月末時点でサイトへの来場者は前年比約 35%程度増加し、売上高も大きく伸びました。

昨今、コーポレートガバナンスやステュワードシップコードに関する議論が盛んであり、企業 IR への関心が高まっています。今回の表彰制度は短期投資でなく中長期投資を可能にするための環境作り、それを理解する投資家や経営者の増加を図ることを目的としています。

フィスコグループでは現在約 330 社のフィスコ企業調査レポートを執筆していますが、レポート数は今後更に増加してまいります。「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」を創設することで、企業の開示姿勢をより良い方向に働きかけ、それがフィスコ企業調査レポートに反映されるというポジティブフィードバックを志向しており、今後も年に 1 回を目安に実施してまいります。

【株式会社フィスコの概要】会社名: 株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>

所在地: 東京都港区南青山五丁目 11 番 9 号

設立日: 1995 年 5 月 15 日

資本金: 799 百万円(2019 年 12 月 31 日現在)

代表者: 代表取締役社長 狩野 仁志

事業内容: 金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

以上